



TSUNAGI

つなぎ議会だより

7

JUNE

つなぎ議会だより

2019.7

発行：熊本県津奈木町議会
編集：議会広報委員会

〒869-5692 熊本県津奈木町小津奈木2123
☎0966-785351

印刷：旭印刷株式会社

第1回定例会 平成31年度当初予算などを審議

☆ 総額51億4,100万円の当初予算を可決

議会に喝!

県中体連に出場が決定した津奈木中剣道部の選手のみなさん

- P 2・3 平成30年度一般会計補正予算7,040万円の減額
- P 4～5 平成31年度当初予算などを常任委員会で審議
- P 6・7 一般質問 2人の議員が登壇
- P 8・9 第1回臨時会 議長に川野氏を再選
新議員による初議会 議会構成決まる

議会のうごき

- 【3月】
 - 1日～15日 第1回議会定例会
 - 8日 水俣・芦北地域振興財団理事会
 - 15日 議会運営委員会
 - 25日 広域行政事務組合議会定例会
- 【4月】
 - 23日 津奈木町議会議員一般選挙当選
証書付与式
- 【5月】
 - 13日 第1回議会臨時会（初議会）
 - 21日 水俣・芦北地域振興財団理事会
 - 22日 教育住民常任委員会
総務振興常任委員会
 - 24日 広域行政事務組合議会臨時会
 - 28日 全国町村議会正・副議長研修会
 - 29日 正・副議長による県選出
国会議員への要望活動
- 【6月】
 - 4日 県町村議会議長研修会
議長会臨時総会
 - 6日 議会運営委員会
 - 13日・14日 第2回議会定例会
 - 20日 教育住民常任委員会
総務振興常任委員会

新人議員です。

よろしくお願いいたします。



この度、初議員になりました宮嶋弘行です。
これまで、町の活性化のため、活性化委員、体育協会、

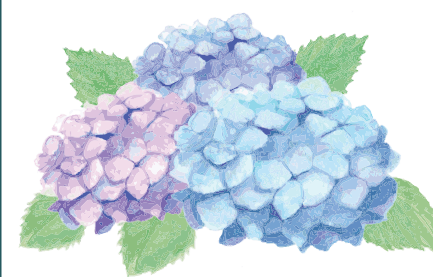
美術館活動、ブロンズマラソン大会、競り舟（海龍チーム）などに色々と携わってきました。
それは、この町に対する熱意と希望が自身に強くあつた事は、間違いないと思っています。
また、趣味としても、陸上競技にも40年余り選手か

らお世話まで、生活の中での一部として活動してきました。
これからのこつこつとした経験をもとに、町民皆様のご指導・鞭撻により精一杯の努力をしていきたいと思ひます。
小さな声とため息まで大切に对应していきますので、お気軽にお声をかけていただきますよう、お願い申し上げます。

編集後記

平成から令和へと1つの時代が終わわり、新しい時代が始まりました。
4月に行われた平成最後の統一地方選挙、津奈木町議会議員一般選挙において10人の定員に対して9人が出馬し、そのまま当選となりました。実に14年前の旧坂本村議会選挙以来のことだそうです。

また。
内容につきましても、今後特集記事を組むなど、工夫を重ね町民の皆様へ「議会は何をしているのか」をより分かりやすく伝えて行きます。今後ともよろしく
お願いします。
(本山真吾)



議会広報委員

委員長	本山 真吾
副委員長	宮嶋 弘行
委員	橋口 知恵子
澤井 静代	
上村 勝法	

平成31年度 当初予算

総額51億4,100万円

内訳 一般会計 30億6,000万円 特別会計 20億8,100万円

平成31年第1回定例会が、3月1日から15日までの15日間の会期にわたり開催され、平成31年度当初予算を主に、条例の改正および補正予算などを審議した結果、原案どおり可決された。

質疑応答

平成30年度補正予算審議 一般会計補正予算（第5号）

問 企画費で、地域おこし協力隊員報酬が減額になっているが、3月1日就任の方の報酬は計上しているのか。

答 当初予算では、2人の報酬を計上していた。3月1日就任で、1カ月分の報酬を残し11カ月分を削除している。

問 環境衛生費の負担金補助及び交付金で、合併処理浄化槽設置補助金が、減額になっているが、現在、何件施工しているのか。また、できない原因は。

答 不燃粗大ごみの年間処理量は、当初の見込みより、減少している。

問 衛生費の中の不燃物の運搬委託料とあるが、この2・3年の処理量の推移は、減少しているのか。

答 1月1日から12月31日までを期間としているため、実績に基づいての報酬である。今回の目標達成率が110パーセント以上であった。委員報酬については、県下のほとんどの農業委員会は差はつけず、均等に配分されているようであり、本町も均等にしている。

問 林業振興費の中で、緑の産業再生プロ

答 実績は、合計の14基である。平成27年から平成31年までの5カ年計画で、年間25基で125件、撤去費3件、全体で140件を予定している。

また、運搬処理単価が入札によって下がったのも原因の一つである。そして、近年の処理量は、減少傾向である。

問 農業委員会報酬と農地利用最適化推進委員報酬、169万4千円の補正を計上してあるが、その内容と、農業委員と推進委員の報酬は同じなのか。

ジェクト促進事業補助金の減額理由は。

答 当初3件の申請を計画していたが、その内1件は早急に機械導入が必要になったため、申請取り下げで減額している。

問 土木総務費の負担金補助及び交付金で、戸建て木造住宅耐震改修等事業補助金が減額している

答 戸建て木造住宅の耐震改修事業の実績は、設計も工事も0件だった。基準は、昭和56年6月以前に建てられた住宅が対象となっている。

問 小・中学校施設整備事業の空調設備工事

問 水俣市水道料で、12月に百万以上の補正を組み、今回また50万の補正を計上してあるが、その理由は。

答 12月に150万円の補正を計上したが、12月と1月の使用量が予定より31万円ほど超過していた。また、小津奈木水源の計

問 施設管理費の委託料で、配水池清掃業務委託料が減額になっているが、清掃業務は実施してい

画変更許可申請が2月を目途に完了したいと報告していたが、手続きが遅れているためである。認可については、3月中に完了予定である。

答 当初予算では、小津奈木、赤崎、平国の3ヶ所の実施を予定していた。小津奈木は、汚れがなく取りやめた。赤崎は、平成29年度に前倒しで実施をしている。平国は、新しいタンクを設置するので、見合わせている。

るのか。

補正予算の主なもの

事業名	予算額	事業内容
美術振興基金積立金	1,000千円	美術振興基金に寄付があったので積立金を増額
定住促進事業補助金	△2,000千円	実績見込みにあわせて減額
私立保育所等運営委託費	6,517千円	私立保育園の利用定員改定で、保育単価が増額
合併処理浄化槽設置補助金	△7,370千円	設置実績より減額
農業委員会委員および農地利用最適化推進委員報酬	1,694千円	農業委員および農地利用最適化推進委員の成果実績に応じて交付される交付金の決定により増額
緑の産業再生プロジェクト促進事業補助金	△18,721千円	1事業所の補助金申請の取り下げにより減額
土地売却収入および源泉タンク移転工事補償金	4,929千円	県道改良工事に伴う温泉センターの源泉移転補償金



総務振興常任委員会の審議状況

平成31年度当初予算 一般会計・特別会計の内訳

一般会計予算 対前年度比 9,300万円の増

会計区分		本年度当初予算額	前年度当初予算額	比較
一般会計		30億6,000万円	29億6,700万円	9,300万円
特別会計	国民健康保険	9億4,600万円	8億8,310万円	6,290万円
	後期高齢者医療	8,000万円	8,100万円	△100万円
	簡易水道事業	2億7,600万円	1億6,200万円	1億1,400万円
	介護保険事業	7億4,300万円	7億4,220万円	80万円
	恒久対策事業	1,600万円	1,700万円	△100万円
	宅地造成事業	2,000万円	2,000万円	0万円

各常任委員会の審議状況

本議会において、平成31年度当初予算を主に、各常任委員会に付託され、審議された結果について、各常任委員長から報告があり、3月15日の本会議において可決された。

総務振興常任委員会

条例

- 津奈木町附属機関の設置に関する条例の一部改正
- 津奈木町報酬及び費用弁償条例の一部改正
- 津奈木町手数料条例の一部改正
- 津奈木町森林経営管理事業基金条例の制定
- つなぎ美術館の設置及び管理運営に関する条例の一部改正
- 津奈木町簡易水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部改正

予算

- 平成31年度津奈木町一般会計予算（総務振興常任委員会所管分）
- 平成31年度津奈木町簡易水道事業特別会計予算
- 平成31年度津奈木町恒久対策事業特別会計予算
- 平成31年度津奈木町宅地造成事業特別会計予算

委員会予算など審議での主な質疑

問 森林環境贈与税の計画的かつ効果的な活用として、平成31年度は意

向調査を行い、残金を基金に積み立てるとのことだが、事業は何年間続くのか。また、どういった事業の進め方をしていくのか。

答 意向調査については10年前後を見込んでいる。事業の進め方については、区域を分けて地権者に対し順次意向調査を行い、調査結果が出た所から現地を確認して、意欲ある事業体につないでいく。採算が取れない、または管理できない山林については、最終的に自治体で管理する予定である。

問 有線放送で女性に放送させた方が聞きやすいという話があるが、現在苦情などはないのか。

答 声が小さい、活舌が悪いなどの苦情が寄せられている。現在当直へ聞き取りやすい放送を心がけるよう注意を促してい

る。女性での放送は今のところ考えていない。

問 つなぎタクシー利用者の要望調査は行っているのか。また、要望には対応しているのか。

答 地区懇談会では、予約が難しい、土・日の運行をして欲しいとの意見が出た。現在は乗車人数が少ない状況だが、利用者が多くなると試験的に運行し分析していく必要があると思われる。

土・日運行の予約受付対応は、むつみ交通に委託することで可能かもしれない

が、土・日運行は財政的に負担が大きく難しい状況である。

問 住民の高齢化に伴い道路愛護作業で対応できない伐採・除草は現在臨時職員で対応しているが本年度は4人から2人に減らして、今後の作業はやっていけるのか。

答 平成31年度は業務委託で対応し、生活道路などは臨時職員で行う予定である。

問 近年高齢化率も上昇し一人暮らしの高齢者世帯も増加している。今後は町と自主防災組織との連携が必要になってくると思うが、それに関する予算は計上しているのか。

答 自主防災組織関係の予算は計上していない。自主防災組織の充実はい今後検討する。

教育住民常任委員会

条例

- 津奈木町国民健康保険診療費支払基金条例の一部改正
- 津奈木町幼稚園設置条例の一部改正
- 津奈木町体育施設条例の一部改正
- 津奈木町敬老祝金条例の一部改正
- 津奈木町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正

予算

- 平成31年度津奈木町一般会計予算（教育住民常任委員会所管分）
- 平成31年度津奈木町簡易水道事業特別会計予算
- 平成31年度津奈木町恒久対策事業特別会計予算
- 平成31年度津奈木町宅地造成事業特別会計予算

委員会予算など審議での主な質疑

問 いじめ対策について件数などの把握はしているのか。

答 毎年12月から1月にかけて、全小・中学校の児童生徒へいじめに関するアンケートを実施し、小学校では、「少し嫌な思いをすることがあった」など複数の回答があったが、二度目のアンケートではいじめはなかった。中学校では、いじめられているのを見たという回答が1件あったが学校の対応などで解消した。

問 人間ドックは、上限が4万円となると自己負担が増えるが、利用者は増加するのか。



教育住民常任委員会の審議状況

答 これまでどおり全額無料ではないが、5歳刻みでなくなるので人間ドックを受診する機会は多くなる。

広報に力を入れて利用者を増やしたい。

問 健康センター（仮称）は、どのような改修をするのか。

答 老朽化した改善センターのリニューアルを行い、調理室、機能訓練室、和室を含めて健康センターとして稼働したい。



小規模災害へ補助金を

久村 昌司 議員

農地災害復旧は

問 現在農地などで災害が発生した場合、どのような対策をとっているのか。

答 国の補助事業で行う災害復旧事業があり、要件としては24時間雨量80ミリ以上、時間雨量が20ミリ以上で、1箇所の工事費が40万円以上が対象となっている。基本補助率は農地が50%、農業用施設が65%で、町の災害復旧事業費と被災農家の戸数などに応じて、補助率がかさ上げされる。農地災害復旧の場合、用途によって異なり、農地の面積に応じた被害復旧の限度額がある。仮に工事費が200万円のところが、限度額100万円の場合、国庫補助が50万円なので個人負担が150万円になるケースがある。

問 災害が発生し他人の土地に影響が出た場合、復旧せざる負えない。しかし、自分の土地だけで済んだなら、40万円未満で補助が出ないとすると、復旧しないままの状態が増えてくるのではないと思う。

近年、高齢化や担い手不足などで耕作放棄地が増加し、小規模な災害でも補助金が出るような制度が必要になってくるのではないか。

答 現在40万円未満の災害は、自力での復旧対応をしてもらっている。県下の小規模災害補助は、玉名市・芦北町・西原村・相良村の4市町村が実施している。今後は近隣市町村を踏まえ前向きに検討していきたい。

里道・水路について

問 里道・水路は現在どのような管理を行っているのか。

答 平成12年地方分権一括法により、平成15年・16年に譲与申請を行い、機能を有する法定外公共物については、国から町へ無償譲渡された。補修や修繕などが必要な場合材料支給を行い、受益者の方々に維持管理をして頂いている。

問 字図に示されていない里道・水路があると思うが、修繕など発生した場合、どのような対応をとるのか。

答 字図に示されていない道路水路などは個人の所有物になるが、地域においては生活道路、排水路として不特定多数の方が利用されているものについては、里道・水路などに準じた対応をしていきたい。

問 今後地域によっては、高齢化が進み、維持管理も難しくなってくる恐れがある。仮に材料支給などを行っても、地域住民では出来ずに、業者に頼まなければならない状況になった場合、工事代金が発生してくる。戸数が少ない地区など困難になるのではないかと懸念される。今後要望があった場合、地域に補助金が出るような制度が必要ではないのか。

答 町道などは町が管理しているのですぐに対応できるが、そうでない場合は難しい。しかし、防災の観点から危険性・緊急性など地区からの陳情などがある場合は、所轄の係なりで判断をしていきたい。

防災対策の強化を図るべきでは

橋口 知恵子 議員

防災対策のさらなる強化を

問 町民に命の危険が及ぶと判断した場合、避難の情報を発令し避難を促しているが、伝達方法がほぼ有線放送である。全世帯に設置されているのか。町が設置する必要があるのでは。

答 有線放送の設置状況は、正確な数値とは言えないが、ほぼ90%を超えているのではないかと予想している。正確な数値を把握するために平成31年度中に調査を行いたい。有線放送の助成については、調査後に検討したい。

問 総合防災訓練は、平成30年度中に行う予定となっていたが実施されていない。いつ行うのか。夜間の避難訓練も行う必要があるのでは。

答 平成30年度中に行う予定としていたが、ふれあい祭りと重なり行えなかった。代わりに各区長に個別の避難訓練の実施をお願いしているが進んでいない。総合訓練は、11月17日に計画している。夜間訓練については危険なども伴うので現在は考えていない。地区より要望があれば町は協力したい。

問 和歌山県広川町は、避難道を照らすための蓄電池内蔵型避難誘導灯が設置されている。本町でも安全を確保するために設置を考えるべきでは。

答 広川町では、稲村の火の伝説と合わせて、津波対策のために避難誘導灯が設置されてい

る。本町は大きな津波、山まで逃げるような大きな津波が想定されていないので、設置予定はしていないが、検討していきたい。

病児保育事業の実現を

問 平成28年9月議会で、水俣市と連携して進めていきたいとの答弁であったが、進捗状況はどうなっているのか。進めるべきでは。

答 本町での事業は実施できていないが、水俣市では、保護者が水俣市内に勤務先を有する方は利用できるようになっている。今年度の登録者は2名である。町内で実施できる施設を検討しているが難しい。大事な事業であり今後も検討していきたい。

地域振興券発行事業の継続を

問 本年10月からの消費税増税に伴う、町内商工業者の厳しい状況改善のための商品券を発行する事業であるが、期間限定のため一時的なものである。継続が必要では。

答 今年10月からの消費税増税による消費の落ち込みによる町内商工業の販売減少が考えられるために町独自事業である。4年前実施した時は、例年より1,100万円以上の町内売り上げが達成された。今回行ってから事業効果を検証し、検討していきたい。

第1回臨時会 議長に川野氏を再選

4月21日執行の津奈木町議会議員選挙後初めての議会が、5月13日に開催され、議長に川野雄一氏、副議長に柳迫好則氏が再選されました。
各委員会の構成が行われた後、議員選任の監査委員に村上義廣氏が選任同意され、水俣・芦北広域行政事務組合議会議員に川野雄一氏、柳迫好則氏を選出、また熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員に川野雄一氏を選出しました。



当選の告知を受け、承諾の挨拶を述べる川野議長

第1回津奈木町議会臨時会が、令和元年5月13日に開催されました。

川野雄一氏を臨時議長とし、議長の選挙が投票により行われました。結果、川野雄一氏が議長に再選されました。

議長選挙後、議席の指定が行われ、副議長選挙の結果、柳迫好則氏が副議長に再選されました。

次に各常任委員会、議会運営委員会の選任が行われ、その後議案の審議へ入りました。



副議長当選の承認を述べる柳迫副議長

○平成30年度津奈木町一般会計補正予算の専決処分の承認

同意

○平成30年度津奈木町国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認

○津奈木町一般会計繰越明許費の繰越計算書の報告

○平成30年度津奈木町国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認

○津奈木町簡易水道事業特別会計繰越明許費の繰越計算書の報告

○平成30年度津奈木町介護保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認

○津奈木町恒久対策事業特別会計繰越明許費の繰越計算書の報告

○津奈木町税条例一部改正の専決処分の承認

以上の案件は、全て承認・同意されました。

○津奈木町国民健康保険税条例一部改正の専決処分の承認

○津奈木町恒久対策事業特別会計繰越明許費の繰越計算書の報告

○津奈木町税条例一部改正の専決処分の承認

○津奈木町恒久対策事業特別会計繰越明許費の繰越計算書の報告

○津奈木町監査委員の選任

○津奈木町恒久対策事業特別会計繰越明許費の繰越計算書の報告

議会運営委員会の各常任委員会の委員が決まる

5月13日の本会議にて、各常任委員会委員および議会運営委員会委員が選任されました。

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会運営の円滑化を図るために議会の運営に関する事項や議会の規則や条例に関する事項、議長の諮問に関する事項を協議する委員会です。

委員長 澤井 静代
副委員長 久村 昌司
委員 橋口知恵子
" 上村 勝法
" 宮嶋 弘行

総務振興常任委員会

総務振興常任委員会は4名で、総務課、政策企画課、振興課、農業委員会および会計課の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項についての審議を行います。

委員長 久村 昌司
副委員長 橋口知恵子
委員 村上 義廣
" 柳迫 好則

教育住民常任委員会

教育住民常任委員会は5名で、住民課、ほけん福祉課、教育委員会所管に関する事項についての審議を行います。

委員長 上村 勝法
副委員長 宮嶋 弘行
委員 川野 雄一
" 澤井 静代
" 本山 真吾

新しい顔

前列右から

村上 義廣議員 ⑦
柳迫 好則議員 ③
川野 雄一議員 ③
久村 昌司議員 ③

後列右から

本山 真吾議員 ②
澤井 静代議員 ②
橋口知恵子議員 ③
上村 勝法議員 ②
宮嶋 弘行議員 ①

() 内は当選回数

